

協働事業に関する提案書

令和3年 4 月 7 日

(宛先)狭山市長

団体名 さやまビリヤード愛好会

所在地

代表者名 長谷川秀夫

次のとおり、協働事業に関して提案します。

| | |
|-------------------------------|---|
| 1 提案する協働事業 | 市民提案型協働事業・行政提案型協働事業 |
| 2 事業名 | 障害のある人もない人も楽しめるビリヤード教室 |
| 3 事業期間 | 令和3年 4月 16日から令和 4年 2月28 日 |
| 4 事業種別 | <input type="checkbox"/> 単年度事業 <input type="checkbox"/> 継続事業 |
| 5 事業予算 | 119,600 |
| 6 事業概要 ※100字以内で簡潔に記入してください | 健康維持は大きな社会貢献であり、障害は環境にあるとの基本理念の基、障害のある人と無い人の共生、そして老若男女が楽しみ競い合えるバリアフリー・リハビリ・生涯スポーツであるビリヤードを通じた交流事業 |
| 7 添付書類 | ■協働事業に関する企画書 (様式第2号) ■協働事業収支予算書 (様式第3号) ■協働事業実施スケジュール (様式第4号) ■協働事業提案団体概要書 (様式第5号) |



協働事業に関する企画書

団体名 さやまビリヤード愛好会

| | |
|---------------|--|
| 1 事業名 | 障害のある人もない人も楽しめるビリヤード教室 |
| 2 事業の詳細 | <p>さやま市民大学での学びの成果を生かす一環としての福祉活動推進事業。 平成24年(2012年)に実施された「ビリヤード指導者養成コース」受講修了者で組織された「さやまビリヤード愛好会」設立の目的の1つとして車椅子利用者等の障害のある人を対象とし、バリアーフリースポーツ・リハビリスポーツ・生涯スポーツであるビリヤードの技術的指導を通じて交流の場を提供する。加えて子供達への技術指導・教育支援を継続・発展させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉の推進増進を図る活動 ・まちづくりの推進を図る活動 ・子どもの健全育成を図る活動 |
| 3 実施体制 | <p>平成24年に実施された「ビリヤード指導者養成コース」受講修了者及び同カリキュラム受講修了者で組織された「さやまビリヤード愛好会」設立8年目、会員数38名となり事業として活動・指導できる段階に入った。 本事業は継続3年目に相当し、事業を拡大・進展させる体制が整っている。</p> |
| 4 役割分担 | <p>【提案団体の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施についての広報活動 ・実施に関わる人的及び業務 ・事業実施に関する経費 ・ハンデキャップ対応した用具の開発・改良機材 |
| | <p>【市の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存施設(元気プラザA棟3階 教室1)の利用 ・対象者への広報支援 |
| 5 協働の効果 | <ul style="list-style-type: none"> ・公的福祉事業の位置付けは、参画する障害者にとって精神的安心感が得られる。 ・対象者へ効果的な広報活動ができる。 |
| 6 事業のアピールポイント | <p>障害のある人と無い人の共生、そして老若男女が楽しみ競い合えるバリアーフリー・リハビリ・生涯スポーツであるビリヤードを通じた交流の場の中で、身体的・精神的・社会的健康づくりを形成する。ビリヤードを通じて子ども達への指導・教育支援による高齢者との交流を継続・拡大させる。 現行の「さやまビリヤード愛好会」ホームページをさらに充実させ全国展開する。</p> |